

出港前報告制度にかかるEXC型電文について

出港前報告制度に係る新規業務において、EXC型電文として出力される電文は、以下のとおりとなり、必要に応じUOC業務での宛先管理設定を実施する必要がある。

※現行の設定については、UOC11業務で照会でき、今回対象の出力電文については、個別の設定がない場合は、バスケット（出力情報コード:999999）に設定されている宛先に出力されます。

※EXC設定については参考資料1を参照

- (1) SAS108 出港前報告不一致情報（民間）
- (2) SAS111 リスク分析結果事前通知情報 【重要】
- (3) SAS112 リスク分析結果事前通知解除情報 【重要】
- (4) SAS121 船卸許可申請控情報
- (5) SAS122 船卸許可通知情報 【重要】
- (6) SAS134 要再申請通知情報 【重要】
- (7) SAS135 ハウスB/L報告完了通知情報

【参考】

- (参考資料1) EXC型電文宛先管理設定について・・・・・・・・P4
- (参考資料2) 出港前報告に係る「出力情報コード一覧」
- 【輸入関連業務】・・・・・・・・P5
 - 【輸出入共通業務】・・・・・・・・P6
- 出港前報告に係る「対象業務一覧」
- 【輸入関連業務】・・・・・・・・P7-8
 - 【輸出入関連業務】・・・・・・・・P9

(1) SAS108 出港前報告不一致情報 (民間)

不一致情報は原則、ATD実施者、DMF実施者にINQ型電文*として出力される。

基本的にはINQ型の出力電文であるが、以下の場合にはEXC電文となる。

*INQ型電文とは主に業務送信者に返信される電文をいいます。

①CMR(追加・訂正)をATD後に実施した場合で、当該CMRを実施した者が、ATD実施者と異なる場合、ATD実施者にはEXC型電文で返る。(CMR実施者にはINQ型電文)

※CMR実施者とATD実施者が同じ場合は、INQ型のみ

②CHR(追加・訂正)をATD後に実施した場合、ATD実施者にEXC型電文で出力

(2) SAS111 リスク分析結果事前通知情報 【重要】

事前通知は、原則AMR, CMR(追加), AHR, CHR(追加)の各業務実施者、DMF実施者(実施済みの場合)および通知先コードへEXC型電文で出力される。また、ハウス情報に関する事前通知については、参考情報として、関連するマスターのAMR,CMR(追加)実施者、DMF実施者(実施済みの場合)および通知先コードにも出力される。

※ただし、以下の場合には、INQ型電文となる。

①AHRまたはCHRの報告がマスターBLの報告より先にされ、且つ事前通知が既に出力されている場合に、AMR、CMRを実施した時点で参考情報として、ハウス情報に対する事前通知をAMR、CMR実施者に出力する場合

②1MF(DMF)、CMF02を契機にそれ以前に出力されている事前通知(HLD,DNL)がDNUに切り替わる、またはDNU、SPDが出力されている場合、DMF実施者、CMF02実施者宛てに出力される事前通知(DNU,SPD)

(3) SAS112 リスク分析結果事前通知解除情報【重要】

事前通知解除情報は、AMR, CMR (追加) , AHR, CHR (追加) 各業務実施者、DMF実施者 (実施済みの場合) 及び通知先コードへEXC型電文で出力される。

また、ハウス情報に関する事前通知については、参考情報として、関連するマスターのAMR,CMR (追加) 実施者、DMF実施者 (実施済みの場合) および通知先コードにもEXC型電文で出力される。

(4) SAS121 船卸許可申請控情報

DNC業務実施後の船卸許可申請控は、原則DNC実施者にINQ型電文で出力される。

※ただし、DNC業務の通知先コードを入力した場合で、当該通知先コードへはEXC型電文で出力される。

(5) SAS122 船卸許可通知情報【重要】

(6) SAS134 要再申請通知情報【重要】

税関からの船卸許可通知 (SAS122) および要再申請通知情報 (SAS134) は、すべてEXC型電文で、DNC実施者および通知先コード (DNC時) に通知される。

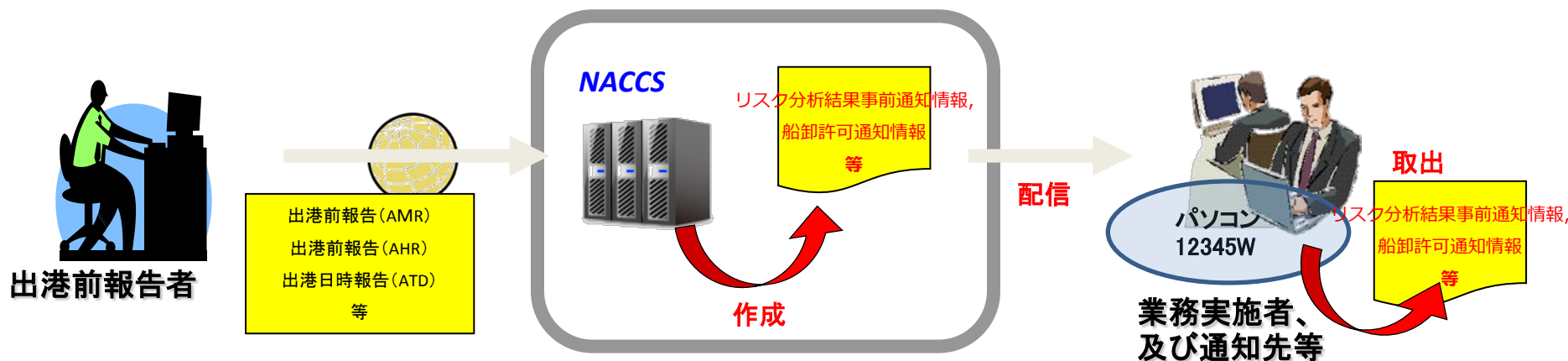
(7) SAS135 ハウスB/L報告完了通知情報

AHR, CHR (追加) で、ハウスB/L報告完了が入力された場合、関連するマスターB/Lの報告者 (AMR,CMR (追加) 実施者 (実施済みの場合)) に、EXC型電文で、ハウスB/L報告完了通知情報が出力される。

EXC型宛先管理登録について

◎EXC電文とは・・・

届出者自身が入力した業務ではなく、他者の入力等をKeyに配信される電文を言います。出港前報告の届出をNACCSホストが処理した際、配信される不一致情報や事前通知情報等が、これに該当します。利用者コード単位に配信方法の選択が可能です。



◎EXC電文の配信方法（パッケージソフト）

- ①即時電文取出し 配信先をパソコン1台に割り当てる。
- ②メール電文取出し 配信先をメールボックスIDに割り当てる。最初に受信要求をしたパソコンに出力されるため、電文管理は事務所内でルールを決めて下さい。
- ③蓄積電文取出し 配信先を利用者コードに割り当て、必要な時にNACCSホストから取出しを行う。最初に受信要求をしたパソコンに出力されるため、電文管理は事務所内でルールを決めて下さい。

※①②③いずれの場合も、NACCSホストで電文作成後、7日以内に取出さない場合、自動廃棄します。また、一度取出した電文の再配信はできません。電文の取り忘れ・紛失にはご注意ください。

- ◎EXC型宛先管理の変更 即時型でのパソコン番号の変更や、即時型⇄蓄積型の変更はご自身で変更することが可能です。UOC11【EXC型宛先管理登録呼出し】→ UOC【EXC型宛先管理登録】業務により行います。
※ 業務規制時間があります(平日の9:00～17:00のみ可)

